

# 大塚製薬株式会社

所在地	富山市牛島町18-7 アーバンプレイス13F	PR
従業員数	17人	大塚製薬は大塚グループが掲げる2050年環境ビジョン「ネットゼロ」を通じて、2050年カーボンニュートラルに向けた取組を行っております。 射水市様に対しても、ボトルt o ボトル水平リサイクルの取組で「ゼロカーボンシティ宣言」に貢献して参ります。 <a href="#">環境ビジョン・環境方針   大塚製薬</a>
事業概要 活動内容	製造業 (医療用医薬品・栄養製品・ OTC医薬品・化粧品など)	



ZERO CARBON CITY  
**IMIZU**  
PARTNER

## 市内で回収された使用済みPETボトルを新たなペットボトルに再生する 「ボトルt o ボトル」水平リサイクルの取り組みの実践

内容・目的

大塚グループは持続可能な社会の実現に向け「大塚グループプラスチックステートメント」に基づき、プラスチックの持続可能な使用と資源循環を推進しています。

「ボトルt o ボトル」水平リサイクルは、PETボトルを資源として何度も循環することができ、新規化石由来原料の使用量削減とCO2排出量の削減に寄与することが可能な取り組みです。

2030年までに、グローバルで販売する飲料製品のPETボトルにおいて、リサイクル原料や植物由来原料の使用割合を100%にすることを目指しています。

効果

市民の皆様から分別排出された年間80 t の使用済みPETボトルを回収し、弊社工場で新たにリサイクル樹脂100%のPETボトルとしてポカリスエット等飲料製品容器320万本に生まれ変わります。

CO2削減量は、年間80tを資源循環しリサイクル樹脂にする事で80 t-CO2/年の削減効果があります。

分別排出された品質の良い使用済みPETボトルは、資源循環され、お手元にポカリスエット等飲料用PETボトルとして再利用される具体的でわかりやすい取り組みです。

### ●回収された使用済みPETボトルの循環工程

- ①回収・選別      ②洗浄・粉砕  
③除染・ペレット化（粒状）      ④再結晶・製品化

